

10. つしま地鶏肉用交雑鶏の能力比較

養鶏科：鳴澤光一・荒木 勉

要 約

シャモ×(ホワイトロック×つしま地鶏)(S×(WR×TN))とシャモ×(ホワイトロック×つしま地鶏肉用タイプ)(S×(WR×TM))の能力を比較し、以下の結果を得た。

- 1) 体重は、全期間をとおしてS×(WR×TM)が、S×(WR×TN)より重かった。
- 2) 飼料効率は、S×(WR×TN)が、S×(WR×TM)より優れていた。
- 3) 解体成績において、S×(WR×TM)はS×(WR×TN)より腹腔内脂肪割合が高かった。

以上の結果からシャモを父にしたつしま地鶏肉用交雑鶏の交配方式はS×(WR×TN)の方が増体は劣るものの飼料効率、腹腔内脂肪割合の点で有利だと思われる。

緒 言

これまで、本県の特産鶏として、つしま地鶏を活用した肉用交雑鶏の作出に取り組み、シャモ×(ホワイトロック×つしま地鶏)の3元交雑鶏が肉色が濃く、特産鶏として利用可能であり、名古屋種、ニューハンプシャー種を素材鶏とした特産鶏より生産効率がよいと報告した¹⁾²⁾。しかし、春餌付けの場合体重が2.28kgと若干小さく、増体の向上が望まれている。そこで母鶏側の交配に増体型として新たに造成した、つしま地鶏肉用タイプを用いた場合の生産性を検討した。

試験方法

供試鶏としてシャモ×(ホワイトロック×つしま地鶏)(以下S×(WR×TN))を100羽×2反復とシャモ×(ホワイトロック×つしま地鶏肉用タイプ)(以下S×(WR×TM))を100羽×2反復を用いた。つしま地鶏肉用タイプは、1987年から造成した増体型を目的としたつしま地鶏で、つしま地鶏、ホワイトロック、シャモ、ニューハンプシャーを交配し、閉鎖群育種を行い造成したつしま地鶏である。

供試鶏は、1995年8月31日に開放平飼鶏舎に25羽/3.3m²で餌付けした。給与飼料として0～3週齢はCP22%-ME3080Kcal/kg、4～14週齢はCP18%-ME3150Kcal/kgを不断給餌した。

調査項目として、体重、飼料消費量、飼料要求率、解体歩留を調査した。

結果及び考察

1 体重

体重は全期間をとおして、S×(WR×TM)がS×(WR×TN)より1%水準で有意に重く、14週齢時の両鶏種の体重差は0.31kgだった(表1)。増体は母鶏にTMを交配した場合従来より改善されると思われた。

表1 体重の推移

鶏種	4週齢	8週齢	11週齢	14週齢
S×(WR×TN)	0.47 ^A	1.25 ^A	2.05 ^A	2.72 ^A
S×(WR×TM)	0.51 ^B	1.38 ^B	2.26 ^B	3.03 ^B

縦列異文字に有意差あり(1%水準)

2 飼料消費量

飼料消費量も体重同様、S×(WR×TM)がS×(WR×TN)より5%水準で有意に多かった(表2)。

表2 累積飼料消費量

鶏種	0～4週齢	0～8週齢	0～11週齢	0～14週齢
S×(WR×TN)	0.76	3.20 ^a	5.57 ^a	8.40 ^a
S×(WR×TM)	0.91	4.10 ^b	6.73 ^b	10.10 ^b

縦列異文字間に有意差あり(5%水準)

3 飼料要求率

飼料要求率は、有意な差は認められないもののS×(WR×TN)がS×(WR×TM)より優れた傾向にあった(表3)。これは、出荷目標体重であ

る2.5~2.7kgに要する飼料を考えた場合も、S×(WR×TN)がS×(WR×TM)より優れていた。よって、TMを母鶏に交配した場合、飼料効率は劣ると思われた。

表3 飼料要求率

鶏種	4週齢	8週齢	11週齢	14週齢
S×(WR×TN)	1.62	2.56	2.73	3.09
S×(WR×TM)	1.80	2.97	2.98	3.34

以上のことからTMを交配し母鶏からの改良を行った場合、増体は改善されるが、飼料効率は劣り、腹腔内脂肪が増加する。また、母鶏の産卵能力を比較した場合WR×TNが67.6%³⁾に対し、WR×TMは48.9%であり、種卵採取についても効率が劣ると思われる。よってシャモを父にしたつしま地鶏の肉用交雑鶏の交配法式は従来どおりS×(WR×TN)が有利であると思われた。今後は、父方に増体型の素材鶏を交配し生産性の向上が可能であるか調査する予定である。

4. 解体歩留

解体歩留では、正肉の割合は鶏種間に差はなかったが、腹腔内脂肪の割合においてS×(WR×TM)がS×(WR×TN)より1%水準で有意に高かった。一般に特産鶏肉の特徴としてプロイラー鶏肉より低脂肪でヘルシーであるとされている点で、腹腔内脂肪割合が高いS×(WR×TM)は、従来の交配に比べると問題が残る。

参考文献

- 1) 後田正樹・真鳥 清：長崎畜試研報3，20-23，1993
- 2) 嶋澤光一・真鳥 清：長崎畜試研報4，25-29，1994
- 3) 本村高一真鳥 清・山口俊彦：長崎畜試研報1，105-118，1991

表4 解体成績

(生体重に対する%)

鶏種	性	むね肉	もも肉	ささみ	正肉計	腹腔内脂肪
S×(WR×TN)	♂	12.8	20.0	3.6	36.4	0.4
	♀	12.2	17.3	3.6	33.1	1.1
S×(WR×TM)	♂	13.0	19.4	3.6	36.0	1.6
	♀	14.0	18.0	3.7	35.7	2.8
鶏種別	S×(WR×TN)	12.5	18.7	3.6	34.8	0.8 ^A
	S×(WR×TM)	13.5	18.7	3.7	35.9	2.2 ^B
性別	♂	12.9	19.7	3.6	36.2	1.0
	♀	13.1	17.6	3.7	34.4	1.9

縦列異文字間に有意差あり(1%水準)